

平成21年度鳥取県原子力防災専門家会議の開催結果について

平成21年6月9日
防 災 チ ー ム

人形峠環境技術センター及び島根原子力発電所周辺の環境放射線の測定結果の評価及び県の実施する原子力防災対策に関する指導、助言等を目的として、下記のとおり専門家による会議を開催しました。

記

1 日 時 5月22日(金) 午前10時～正午

2 場 所 県庁第33会議室(第2庁舎4階)

3 委 員

氏名	所属・役職等	専門分野
うらべ いつまき 占部 逸正	福山大学工学部情報工学科 教授	放射線計測・放射線防護
かみや けんじ 神谷 研二	広島大学緊急被ばく医療推進センター センター長	緊急被ばく医療
こだに かずひこ 小谷 和彦	鳥取大学医学部附属病院放射線部 准教授	放射線医療・放射線物理
しずま きよし 静間 清	広島大学大学院工学部工学研究科 教授	環境放射能
ふじかわ ようこ 藤川 陽子	京都大学原子炉実験所 准教授	放射能環境動態
やまだ ゆうじ 山田 裕司	放射線医学総合研究所線量評価研究部 部長	線量評価

※神谷委員は今回欠席

4 開催結果

- (1) 人形峠環境技術センター、島根原子力発電所とも、人体及び周辺環境に影響が生ずるような測定結果の値は見られないこと。
- (2) 岡山県と人形峠環境技術センターとの協定に定める管理目標値を超える日が3回起きているので、その原因が人形峠環境技術センターにないのか確認を行うべきであること。
- (3) フッ素の測定が行われているが、必要性があるのかモニタリング計画の見直しを検討すること。
- (4) 被ばく医療機関について、県民の安全・安心のためにも指定する方向で検討すること。

5 今後の取り組み

専門家会議において指摘された事項について検討し、できるだけ速やかに対応する方針です。